

2018年6月27日

4 健都まちづくりとシティプロモーションについて

○松本暁彦議員

4、健都まちづくりとシティプロモーションについてですが、健都まちづくり推進担当の新体制での取り組み状況についてお聞かせください。

○平井保健福祉部理事

続きまして、新体制による取り組みの進捗状況についてのご質問にお答えいたします。

健都における取り組みにつきましては、本市が目指す健康寿命の延伸や市内産業の活性化など、健康・医療のまちづくりという、これからの摂津市にとって非常に大きなプロジェクトであると認識しております。健都のまちづくりを担当する職員を明確化し、部局横断的に取り組むことで、本市の行政内部の横の連携はもちろんのこと、大阪府や吹田市をはじめとした関係機関とも密な連携が図れつつあります。

この体制のもと、オール摂津で取り組みを推進することで、健都を中心に、健康づくりと医療イノベーションの好循環の創出による健康寿命の延伸をリードするまちづくりを効果的、効率的に市域全体に広げることができると考えております。

○松本暁彦議員

続きまして、4番目、健都まちづくりとシティプロモーションについてですが、オール摂津としての取り組みに期待するものであります。

さて、健都のまちづくりは、国や吹田市の連携だけでなく、本市独自の施策としても非常に大きな事業です。そこで、本市の三つの意義である健康寿命の延伸、産業活性化、そして、健康のまちづくりの全国発信についての取り組み状況についてお聞かせください。

○藤浦雅彦議長

保健福祉部理事。

○平井保健福祉部理事

健康寿命の延伸につきましては、健康寿命の延伸をリードするまちを目指し、国立循環器病研究センターを中心とした医療クラスターの形成を進めるとともに、同センターの知見を生かしまして、さまざまな健康施策に取り組んでいるところでございます。

また、現在、循環器疾患の発症及び重症化予防等を図るためのプログラムの構築や、循環器疾患制圧に資する新たなコホート研究の実施に向けまして、同センターをはじめとする関

係機関との間で準備を進めているところでございます。

産業の活性化につきましては、ライフサイエンス分野におけるポテンシャルの高い地域特性を生かした事業展開を行っていただく中で、地域の経済活動を牽引していただける事業者を健都イノベーションパークへ誘致する必要があります。現在、吹田市をはじめ、関係機関との連携のもと、本市にとって最も有益となる企業に進出していただけるよう、選定に向けまして情報収集を進めているところでございます。

最後に、健都のまちづくりの全国発信でございますが、市内にとどまらず、全国的に健都を中心とした健康づくりと医療イノベーションの好循環の創出による健康寿命の延伸をリードするまちづくりを市域全体に広げていき、健康・医療のまちづくりに取り組む本市のイメージを確立することが、魅力発信、ひいては市民の健康に対する意識向上につながるものと考えております。そのためにも、現在の取り組みを着実に進めていくことが重要であり、効果的な情報発信に向け、健都の地権者等で構成されます北大阪健康医療都市連絡調整会議において、健都のPRの取り組みなどを中心に活発な議論を行っているところでございます。

○藤浦雅彦議長

松本議員。

○松本暁彦議員

三つの意義の取り組み状況について理解いたしました。

さて、健都まちづくりを適切に進め、成功に導くことは、本市の将来を左右するものかと思えます。どのように今後健都のまちづくりを進めていくのか、お考えをお聞かせください。

○藤浦雅彦議長

副市長。

○奥村副市長

健都まちづくりとシティプロモーションのご質問をいただいております。

シティプロモーションの捉え方はいろいろとありますが、思いますには、市の売り込み、市の認知度の向上、市への愛着心の形成等が考えられます。ひいては、定住人口と流入人口を低下させない、できれば、むしろ増加させたい、そのような取り組みとも言えます。このことにより、継続的な市行政運営に必要な自己財源の確保の増大につながってまいります。

人口を維持し、さらに増加させ、また、活気ある地域の実現のためには、まずは自治体を魅力的にしなければなりません。地域の魅力を知ってもらうためには、自治体が積極的に営業することが必要となってまいります。地域を効果的に活性化するためには、地域の魅力を売り込む営業活動、他方面にわたる能動的な活動であるシティプロモーションが重要な鍵を握ると言われております。

このようなことから、摂津市を売り出す、宣伝する、摂津市の名前をいかに多くの人に知

ってもらいか、いかによいイメージを持ってもらうかといったことに意識がどうしても行きがちでございますが、決してそれだけではないと考えております。魅力を発信すること、魅力を磨き上げることのいずれも重要なのは、市民、そこに住んでいる人、そこで活動している人、それらの人々が、身近にある魅力に誇りや愛着を持って、そこで生活できるようにすることではないかと思っております。具体的に進めていくには、まずは自分の自治体のイメージをブランド化し、発信していくことが不可欠でございます。それには住民の意識が大きくかかわってまいります。各地域の住民が、地元を愛し、自治体の取り組みに協力する、住民と行政の協働作業こそが地域活性化の原動力となります。

とはいうものの、すぐには定着することは難しく、根気と工夫が必要な地道な活動とも言えます。誰しもが健康は最大の関心事であることから、今後は、国立循環器病研究センター及び国立健康・栄養研究所とともに連携・協力し、健康寿命の延伸に資する取り組みを一層進めていくことが、健都の魅力、ひいては摂津市全体の魅力を高めていくものと確信しております。これからの摂津ブランドの一端として、機会あるごとに営業し、発信していきたいと考えております。

○藤浦雅彦議長
松本議員。

○松本暁彦議員

ありがとうございます。市民のための健都のまちづくりをしっかりとオール摂津で具体化するよう要望いたします。

さて、総務建設常任委員会で先月視察させていただきました焼津市では、市の魅力をどう育てるかが課題でした。目玉となる観光資源の不足する本市においては、魅力の一つとして健都のまちづくりに重点を置いたシティプロモーションが適切かと思えます。今、ローレルスクエア健都等の複数のマンションが建設される中、全世代の健康施策、子育て支援の充実により、子育て世代を本市に呼び寄せる最大の機会です。また、イノベーションパーク企業誘致にもつながります。

そのため、しっかりと広報と結びつけ、PR冊子などにより、市民、特に市外に向けても情報発信を行うべきです。健都を本市の進める重点的シティプロモーションとして取り組むよう、また、予防先進モデル地域に向けて、JR千里丘駅西口再開発等の各種施策を連携させることも併せて要望いたします。